

「全鍍連」 2019年 2月号 理事長のよこがお

静岡県鍍金工業組合 理事長 山田喜康

「備えあれば・・・」



今年の6月末をもって、社長を退任した。何とか二代目の責務(!?)を果たし、三代目へとバトンタッチをした。幸いにも長男が継ぐとの意思表示をしていたので、私の気持ちとしては楽であった。

私は25年前に、初代の突然の死去にともない、平社員から社長となった。今でこそ「事業承継」という言葉もポピュラーであるが、当時技術系の私にとっては分からないことも多く、ソフトランディングの大切さを痛感した。

そこで、ほぼ10年をかけ、コンサルタントの力も借りて計画を練り、実行してきた。納税の負担も少なくするために事業承継税制を利用することとし、さらにはいろいろな優遇税制も利用した。勿論、会社の基盤を強固にすること、将来性のあるものにすることが最も大切であり大前提であるので、新規技術の開発を初め、さまざまな改善も行ってきた。

私は、浜松の協同組合の理事長も務めている。現在は組合員のほとんどが二代目に代わっているが、自分の経験上、事業承継に関しては早めの準備が大切と思っているので、協同組合で次代を考えた事業承継に関する事業を行うこととした。昨年度は静岡県中小企業団体中央会さんのお力を得て、税理士で中小企業診断士の資格を有する講師を派遣していただき、「知っておきたい事業承継のポイント」をテーマにセミナーを開催した。そして今年は、対象を静岡県の工業組合にまで広げて実施する。これまで専門的で話ができない、各企業のかかり踏み込んだところまで話をするようになる、M&Aの話はさらに困難・このような事業を行う場合には難しいことが多いので専門家に依頼し、組合としてはきっかけ作りになれば良いと思う。

そしてこれからも、全鍍連さんが実施する後継者育成の研修会に、青年部の会員を派遣していく。

幸いなことに、本年度は中央会さんも事業承継支援に力をいれている。過日、「今 問う!中小企業の事業承継～経営者・後継者・そして組合に求められるもの～」をテーマに、静岡県大会が開催された。

奈良県プラスチック成型協同組合さんが、組合をあげて事業承継を進められており、素晴らしい成果をあげられている。大会では、同組合専務理事さんに「事業承継のためのロードマップの構築と活用」というテーマの基調講演をいただき、その後、パネルディスカッションが行われた。私もパネラーとして参加、意見(というより経験)を話させていただいた。続いて中央会さんから、中小企業の円滑な事業承継を実現するための経営者、後継者が取り組むべき事項と、その支援を行う組合、中央会の役割・新たな事業についての提案があった。心強い限りである。

組合員が毎年減少している現在、事業承継は最重要課題といっても過言ではない。何れにせよ、早い段階からの準備が大切であろう。